

2024年7月31日

各位

株式会社 北海道銀行

道北ハウジングシステム協同組合と
ほくほくサステナブルファイナンス（グリーンローン型）を契約締結

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、道北ハウジングシステム協同組合（代表理事 三津橋 央、以下「同組合」）と「ほくほくサステナブルファイナンス（グリーンローン型）」^{※1}の契約を締結しましたのでお知らせいたします。

※1 [2021年9月16日付「ほくほくサステナブルファイナンスの取扱開始について」参照](#)

記

1. グリーンローンについて

国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資であり、資金用途がグリーンプロジェクトの充当に限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートングを通じ、透明性が確保される等の特徴を有しております。

2. 本件の概要

借入人	道北ハウジングシステム協同組合
金額	167百万円
実行日	2024年7月31日（水）
資金用途	木質バイオマスボイラー取得資金
貸付人	北海道銀行

同組合は、1995年当時、木材需要の不振など林業を取り巻く厳しい環境を乗り越えるために、木材関連産業、建材メーカー、工務店が相互に連携して取り組むことが必要とされ、北海道士別市において設立されました。同組合が属する三津橋産業グループでは、「北海道の森を育て、守ります。」という理念のもと、国産材を主体に植林から加工販売の一連の工程を行っております。同組合は、主に製材の二次加工であるプレカット加工、人工乾燥、モルダー（木材の表面の仕上げ）といった加工工程を受注しております。

本件の資金用途は、木材の乾燥工程で使用するバイオマスボイラーを従来のボイラー（重油使用）から木質バイオマスボイラーに変更するための導入資金です。木質バイオマスボイラーの燃料は、三津橋産業グループの製材過程で発生する、国産材由来のものを主とした木屑・バークが使用される予定です。これにより、500～1,000t-CO₂/年を削減出来る見込みであり、三津橋グループにて掲げている「CO₂排出量を2031年3月期までに2023年3月期対比10%削減」というKPIの達成を通じて、カーボンニュートラルにつながる取組を実現していきます。

本件は、ローン・マーケット協会（LMA）「グリーンローン原則2023」との適合性について、株式会社日本格付研究所（JCR）より、総合評価「Green 1」とする評価レポートを取得しております。

北海道銀行では、本件を通じて同組合のサステナビリティ経営に対する取り組みを金融面から支援してまいります。

3. 完成したバイオマスボイラー



4. 道北ハウジングシステム協同組合の概要

- (1) 本社所在地 : 北海道士別市西3条20丁目464番地
- (2) 出資金 : 19.5百万円
- (3) 代表者 : 代表理事 三津橋 央
- (4) 設立 : 平成7年6月

5. 三津橋産業株式会社の概要

- (1) 本社所在地 : 北海道士別市西1条21丁目471番地
- (2) 資本金 : 56.6百万円
- (4) 代表者 : 代表取締役 三津橋 央
- (5) 設立 : 昭和25年9月

6. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 経営企画部 サステナビリティ推進室 津村 Tel(011)233-1009
経営企画部 広報 CSR室 坂野 Tel(011)233-1005